

## 丘珠空港の将来像に関する論点等について

論点1 ■ 道内航空ネットワークの充実について	
第1回検討委員会での意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道新幹線の札幌延伸で道南圏と札幌の間は1時間程度で結ばれることになるが、それ以外の道東、道北の地域とを短時間で結ぶ機能を丘珠は担わなければいけない。</li> <li>丘珠空港を活用して是非とも道内の他の地域、道東、それから道北、道南といった地域にも観光客がバランスよく迎えられるような体制になっていけばいいと思う。</li> </ul>
参考資料及び対応状況	(将来像(素案)に反映済み。)

論点2 ■ 道内医療を支える空港としての役割の強化のための、医療ジェットの通年運航化について	
第1回検討委員会での意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬こそ医療ジェットが一年中で一番重要な時期なのではないかと思う。</li> <li>自然災害や高齢化は景気に関わらず生じるため、防災や医療の機能は重要であり、そういった起こる可能性が高いことをきちんと念頭に考えて、まず市民・道民を支える機能という観点で考えることが必要。</li> <li>疾患によっては4時間以内に搬送しなければいけないケースも非常にたくさんありますので、医療ジェットの通年化は必要だと思う。</li> <li>市民からも医療の役割に関しては大切だという意見が挙がっているかと思うので、丘珠空港の大きな役割として考えていければと思う。</li> </ul>
参考資料及び対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>(参考資料1)メディカルウイング事業の概要及び通年化に向けた課題</li> </ul>

<b>論点3 ■ 防災機能の強化のための、路線の拡充及び通年運航化、防災拠点化について</b>	
<b>第1回検討委員会での意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 防災に関して、夏と冬で使える機能が違うのであれば、少しでもその差を小さくして夏に近い形に冬も防災拠点として活用できるようにしなければならない。</li> <li>• 自然災害や高齢化は景気に関わらず生じるため、防災や医療の機能は重要であり、そういった起こる可能性が高いことをきちんと念頭に考えて、まず市民・道民を支える機能という観点で考えることが必要。</li> <li>• 丘珠空港の道内各地への路線を整備し防災拠点としていくのが良いと思う。市の消防ヘリを早急に丘珠に移すほか、新千歳空港の海上保安庁を丘珠空港に移すことも防災基地の拠点化につながると思う。</li> <li>• 防災に関して丘珠空港は非常に使える空港だと思っているので、その活用についてもぜひとも深めていきたい。</li> </ul>
<b>参考資料及び対応状況</b>	<p>(路線の拡充、通年運航化は将来像(素案)に反映済み。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市の消防ヘリの拠点化については本市消防局と協議中であり、来年度具体的な配置計画等に係る検討業務を発注予定。</li> </ul>

<b>論点4 ■ ビジネスジェット機の更なる利用について</b>	
<b>第1回検討委員会での意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プライベートジェットが便利で使えるということになれば、富裕層もより北海道に来てくれると思う。</li> </ul>
<b>参考資料及び対応状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● (参考資料2)ビジネスジェット就航のメリット、必要施設、道内7空港の民間委託の取組</li> </ul>

論点5

■ 運航機会の拡大のための、滑走路延伸による通年運航化、運用時間の延長について

第1回検討委員会  
での意見

- 防災に関しては、夏と冬で使える機能が違うのであれば、少しでもその差を小さくして夏に近い形に冬も防災拠点として活用できるようにしなければならない。医療に関しても、冬こそ医療ジェットが一年中で一番重要な時期なのではないかと思う。
- 10年で世の中が全く変わるので、それを見越した計画を立てる必要がある。1,800mで整備し、将来やっぱり2,000m必要になったという形にならないように整理してほしい。
- 丘珠空港の利用時間は1時間延ばしたら9時30分になるが、もう少し便数を増やすなり、自衛隊の協力を得ないといけないと思う。

参考資料及び対応  
状況

(滑走路延伸による通年運航化、運用時間の延長は将来像(素案)に反映済み。)

- (参考資料3)滑走路延伸のケースごとの比較
- (参考資料4)運用時間延長による効果

<p>第1回検討委員会 での意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域にとって空港を積極的に認めてもらうということであれば、空港ビルの利活用、もしくは医療というようなものについても、民間の力を借りれば可能性がないわけではないと思うので、先行的に考えていくのも良い。</li> <li>• 道内では空港関係職員の養成所は千歳に一つで人手不足の状況があるので、丘珠に姉妹校として養成所を作れば、道内の空港スタッフの人材育成の他、北区、東区の子供が羽田や成田で働くためのキャリア養成を担うことができる。また、丘珠空港を小学校から高校までの職業教育の場として使用できないか。</li> <li>• 航空業界においてはパイロット不足も言われているので、パイロットの育成をする養成学校を誘致するのもひとつである。</li> <li>• 羽田空港では、一部移転地域に企業誘致や新ビジネスの拠点を設置するという事を計画しているよう。丘珠空港がより利便性が高く、機能整備がされていけば、丘珠空港周辺地域で観光関連も含めて、新たな複合的ビジネス拠点としての発展可能性も将来十分あるのではないかと思う。</li> <li>• 以前、パブリックコメントでロープウェイを栄町駅から丘珠空港を経由してモエレ沼公園まで整備することを提案した。これから運用時間を延ばしたり、便数を増やすということになると、迷惑はやはり地元の人にかかるので、まちづくりということを将来的に考えてほしい。</li> </ul>
<p>参考資料及び対応 状況</p>	<p>(民間活力の導入については将来像(素案)に反映済み。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● (参考資料5)航空業界の人材不足の現状</li> <li>● (参考資料6)航空関連の教育施設・職業教育の事例</li> <li>● (参考資料7)空港の利活用が周辺地域に及ぼす効果の事例</li> <li>● (参考資料8)二次交通の整備における課題</li> </ul>

論点7 ■ 民間委託となる道内7空港との連携について	
第1回検討委員会での意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>道内7空港のコンセッションのSPCが決っているので、方向感として丘珠と道内7空港がどういう連携ができるかということに関して話を進めていかないといけない。今年の会議の中で少しその過程を見せてほしい。</li> <li>丘珠空港は丘珠単独で考えるのではなく、北海道全体、日本全体という大きな視野のもとに、民営化になった7空港と競合するという現実が目の前に控えているので、そことの関連を考え、市長が考える持続可能な将来のまちづくりに近づいていただけると市民としてはありがたい。</li> </ul>
参考資料及び対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営事業者となった北海道エアポート(株)と協議を始めたところであり、連携内容について検討中。</li> </ul>

論点8 ■ 意見聴取の手法や在り方について	
第1回検討委員会での意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>道内主要都市と丘珠空港の結びつきというのは極めて北海道内では重要であり、札幌市民の意見を聞くというだけではなく、札幌以外の丘珠空港を利用している人々、あるいはこれから潜在的に利用できるであろう地域の人々の声を拾い上げたかたちで将来像を考えるべきだと思う。</li> <li>今年度のワークショップは30名程度の募集ということだが、個人的には少ないと思う。</li> </ul>
参考資料及び対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌市以外の方からの意見聴取については北海道と協議中</li> <li>(参考資料9)意見聴取の事例</li> </ul>

論点9 ■ 航空料金の引き下げによる利用促進について	
第1回検討委員会での意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空料金の引き下げというのは需要の増加なり、利用の促進の前提条件である。現状では、HACもFDAも利用料金は高いが、どう利用しやすい形に変えていくかが利活用促進の前提になるかと思うので、うまく組み込んでほしい。</li> </ul>
参考資料及び対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の体制で料金を引き下げるとするのは難しいが、今後運航の機会が増える等して、より多くの人に利用してもらえるようになれば引き下げの可能性はある。(航空会社への聞き取りより)</li> </ul>

論点10

■ 将来像実現に向けた取組期間の考え方について

第1回検討委員会  
での意見

- 10年というのは間延びするくらい長い話で、民間のニーズ、特に路線拡大にかかわるニーズというのは10年後にやりたいというのは現実的ではないので、早い時期に方向感をきちんと明確にして、整理していくということが必要である。先にやれることは極力先にやっていくという事で議論できればと思う。
- 将来像は10年計画ということだが、この10年で終わるのか。一番先に滑走路の延長をしなければ実現しないと思う。

参考資料及び対応  
状況

- (参考資料10)各取組の想定スケジュール